

教科・科目	生物・理数生物	授業タイトル	ブタの眼球の解剖
-------	---------	--------	----------

授業の内容

3年生の2学期には「生物の環境応答」という単元で、眼、耳、鼻などの感覚器官のつくりと働き、筋肉や発光器などの効果器のつくりと働き、そしてその両者をつなぎ、情報の処理を行う神経系のつくりと働きを学習します。

ここで紹介する授業は、セキツイ動物の眼の構造と機能、例えば遠近調節や明暗調節、色の識別がどのような仕組みで行われているか…などを学習した後に、実際にブタの眼球を解剖することで、そのつくりと働きをさらに深く理解することを目的に実施します。眼球の硬さや水晶体の弾力、網膜の柔らかさや脆さを実際に体感するなかで、生体の構造に関する理解だけでなく、生物の体の精巧さと合理性を肌で感じる体験から、生命の尊厳についても深く考えます。

写真（実習プリントの一部）

### 豚の眼の解剖・観察

① 材料の準備

② 観察の手順

③ 観察の報告

④ 観察のまとめ

⑤ 観察の振り返り

① 材料の準備

② 観察の手順

③ 観察の報告

④ 観察のまとめ

⑤ 観察の振り返り